



このたび、TEZUKAYAMA GALLERY-VIEWING ROOMでは9月20日より後藤靖香の個展「壽三郎ノ罷り路(じゅさぶろうのまかりち)」を開催いたします。

後藤靖香は、自身の祖父や大叔父の戦争体験をはじめ、歴史の中に埋没した個人史や土地に刻まれた記憶を丹念に掘り起こし、大画面に劇画調の筆致で描き出す表現で知られています。壁を覆うほどのスケールに大胆な構図で展開されるその作品は、迫力ある筆跡と圧倒的な存在感によって、鑑賞者の記憶に深く刻まれます。

近年は日本の伝統芸能である人形浄瑠璃・文楽を題材に取り組み、表現の幅をさらに広げています。2023年の「中之島文楽2023-人形浄瑠璃 文楽×講談×現代美術プロジェクトマッピング」では、青を基調とした舞台美術の原画を手掛け、プロジェクト・マッピングの素材として作品提供したほか、緞帳を飾る巨大なドロイングを発表しました。その調査の過程で後藤は、戦時下の文楽公演において「肉弾三勇士」や「九軍神」といった題材が上演され、戦意高揚や戦争美談というプロパガンダというかたちで国策に協力していたという歴史的事実に行き当たります。かねてより戦争の記憶を取材し作品化してきた後藤にとって、この発見は思いがけない接点となり、その後制作された作品《堂々巡り》として結実しました。同作品では、真珠湾攻撃で戦死した九軍神の一人である上田定が象徴的に描かれ、2024年のART OSAKA Expanded Sectionにて発表されました。

約5年ぶりとなるTEZUKAYAMA GALLERYでの個展では、原爆投下時に爆心地で命を落とした作家の親族である後藤壽三郎を起点に作品が展開されます。これまで自身の祖父や大叔父の戦争体験や当時を生き抜いた人々の記憶を描いてきた後藤ですが、初めて「原爆・ヒロシマ」という題材に個人的な繋がりを通じて対峙します。奇しくも、本展が開催される今年には終戦から80年の節目を迎えました。直接の戦争体験者が少なくなりつつある今、消えゆく声や記憶を想像しながら、〈語り得ぬもの〉をどのようにかたちで残し、未来へと引き継ぐことができるのか、壽三郎の生をめぐる物語を通じて、その静かな問いかけに向き合う時間となれば幸いです。是非、ご高覧下さいませ。

[アーティスト・ステートメント]

私には後藤壽三郎という爆心地で亡くなった親族がいる。一般的に広島市の爆心地は原爆ドームと認知されているが、本当の爆心地は島病院であり、壽三郎はその島病院の真向かいにあった広島郵便局で働いていた。本来なら定年退職している年齢だが、戦時下ゆえ数少ない男性職員として働き続けていたのだろう。1945年8月6日の原爆投下の際もその郵便局で勤務しており他の職員、動員された学徒たちと共に原爆の直撃を受け亡くなっている。壽三郎の遺体は判別できず、住まいも爆心から1.3キロにあり、遺品や写真も全て焼けて何も残らなかった。唯一残っているとすれば彼が退職後に余生を過ごすはずだった後藤本家の家屋だけだろう。その本家も高速道路の整備の際に解体され、今は私が住んでいる分家の家屋の部材として再利用されるに至った。

「私は壽三郎の帰るべき場所を奪ってしまったのかもしれない」
そんな妄想が頭を過ぎる。
これまで私は特攻兵だった祖父や戦中の逸話などをモチーフに戦争画を描いてきた。戦後の日本において加害者の物語はある種のタブーになったと言えるだろう。戦争画は戦争を美化し賛美していると咎められかねない。だが私は敢えて描いてきた。
戦後、被害者の物語は手厚く語られてきたが、加害者の側にもまだ語り得ぬ物語があると感じているからだ。私の絵はそんな『語り得ぬ加害者の物語』なのだ。

だが、今思えばそれは自分自身も加害者かもしれないという不安からだったのかもしれない。そして壽三郎に関して調べる中で自分が住む家が壽三郎の家だったと知り、不安は現実味を増した。だからきっと私は、私自身の物語も描かねばならないだろう。

本作のタイトルにある「罷り路」とは家へ帰る道、あるいは死者の行く道、冥土への道といった意味合いの言葉だ。亡くなった壽三郎が帰るべき場所で、いま私は生きている。ゆえに本作は後藤壽三郎の物語であり、私、後藤靖香の物語でもある。

後藤靖香

後藤靖香 | Yasuka Goto

1982 広島県生まれ、在住

2004 京都精華大学芸術学部造形学科洋画コース 卒業

主な個展

2025 「壽三郎ノ罷り道」 | TEZUKAYAMA GALLERY

2023 「In the Blue」 SLAP iti Prijoct vol.3 アーティスト招聘プロジェクト | iti SETOUCHI

2020 「真珠星」 | TEZUKAYAMA GALLERY

2018 「ART OSAKA 2018 | ホテルグランヴィア大阪 大阪

2016 「必死のパッチ」 | GALLERY FLEUR 京都

2015 「かくかくしかじか」 | TEZUKAYAMA GALLERY

2013 「ART STAGE SINGAPORE 2013」 Project Stage | Marina Bay Sands シンガポール

「机上の空砲」 | TEZUKAYAMA GALLERY

2012 「後藤靖香 個展」 | 八千代の丘美術館 広島

「暗号模索」 | 第一生命南ギャラリー 東京

「+Plus: The Art Fair 003」 | Spiral Hall 東京

主なグループ展, アートフェアなど

2025 「戦後80年《明日の神話》次世代につなぐ 原爆×芸術」 | 川崎市岡本太郎美術館 神奈川

2024 「ART OSAKA 2024 - EXPANDED」 | 名村造船所大阪工場跡地 大阪

2023 「“MEMORIES 02” selected by Tomio Koyama」 | CADAN 有楽町 東京

「中之島文楽2023『日高川入相花王』渡し場の段・『増補大江山』戻り橋の段」(舞台美術担当) | 大阪市中央公会堂 大阪

「COOL文楽Show『曾根崎心中』」(舞台美術担当) | クールジャパンパーク大阪 TTホール 大阪

2022 「ARTIST TRANSFER in Hiroshima」 | Art Gallery Miyauchi 広島

2018 「RE: Focus vol.3」 | TEZUKAYAMA GALLERY

2017 「高見島 - 京都 日常の果て」 | GALLERY FLEUR 京都

2016 「六本木クロッシング2016展 -僕の身体、あなたの声-」 | 森美術館 東京

2015 「被爆70周年:ライフ=ワーク」 | 広島市現代美術館

2013 「Re:Focus」 | TEZUKAYAMA GALLERY

「建物の生態」 | 広島市立本川小学校平和資料館 広島

「みなとの物語 -咲くやこの花賞受賞者, フランス新鋭作家展-」 | 名村造船所大阪工場跡 CCO, 大阪

受賞歴

2012 受賞「絹谷幸二賞」毎日新聞社主催

受賞 平成24年度「咲くやこの花賞」

2011 受賞「VOCA展2011 奨励賞」

2008 入選「第11回岡本太郎現代芸術賞」

2006 入選「トーキョーワンダーウォール公募2006」

2005 入選「新・公募展2005」

□ 作品 | Artworks



堂々巡り ART OSAKA 2024 Expanded Section (2024年)
 Venue: クリエイティブセンター大阪 (名村造船所跡地) / Photo: Taiya Yuico



後藤靖香個展「真珠星」(2020年)
 Venue: TEZUKAYAMA GALLERY - MAIN GALLERY / Photo: Hyogo Mugyuda

□ 展覧会情報 | Exhibition Information

後藤靖香 | Yasuka Goto

壽三郎ノ罷リ路 (じゅさぶろうのまかりち)

2025.9.20 Sat - 10.18 Sat

営業時間: 火 - 土 12:00 - 19:00 | 休廊日: 日曜日・月曜日・祝日
 OPEN: Tue - Sat 12:00 - 19:00 | CLOSED: Sunday, Monday and Holidays
 お問い合わせ: info@tezukayama-g.com / 岡田 (TEZUKAYAMA GALLERY)

TEZUKAYAMA GALLERY

〒550-0015 大阪市西区南堀江1-19-27山崎ビル2F
 Yamazaki Bldg. 2F, 1-19-27 Minami-Horie, Nishi-ku, Osaka, 550-0015 JAPAN
 t: +81 6 6534 3993 | e: info@tezukayama-g.com

